

人と街 みんなで創る 武校区

まちづくりプラン

第1期（令和2年度～令和6年度）



武小学校シンボルツリー プラタナス

～未来輝く 明るく住みよい まちづくり～

武校区まちづくり協議会

☎ 099-202-0706 Fax 099-202-0509

武校区まちづくりプラン策定のねらい

＊＊ この冊子が意味するもの ＊＊

武校区まちづくり協議会（校区の町内会等約 50 の協賛団体で構成）が、
《スローガン》 人と街 みんなで創る 武校区
《サブスローガン》 ～ 未来輝く 明るく住みよい まちづくり ～
の目標を実現するために策定する、令和 2 年度から活動する 5 か年計画のことです。

そのために、当協議会役員と外部の有識者 4 名を加えてコミュニティプラン策定委員会を設置し、1 年半余り検討を進めて参りました。

委員会では、校区住民の声を聴くという観点からアンケートを実施し、小・中学生を含め、約 1, 6 0 0 名の方から回答をいただきました。また、まちづくりに関連する諸活動を継続して行っている町内会等の団体から、活動の現状や課題を把握し、社会的な諸課題等についての各委員の意見を勘案しながら、校区の現状、課題及び今後の取組を検討して参り、具体的な活動内容をまとめたものであります。

当協議会としての活動は、①町内会をはじめ、あいご会等の既存団体が行っている活動はそれぞれを尊重し、今後も充実発展していただきたいこと、②公民館運営審議会当時から校区全体で取り組んできた活動を継続し、今回の検討の結果、その必要がある新たな活動についてできることから取組を始めること、③活動の内容によっては既存の団体と連携または支援等することによって校区全体のまちづくりに寄与していくこととしています。

来年度からは、このプランに基づいて活動を展開いたしますが、実践するにあたっては、住民の参画なくしては実現できるものではありません。活動の中でつながりを広げ、目標を見失うことなく柔軟に対応して参りますので、様々な場面での皆様のご協力をお願いします。

まさに、「自分たちの街は、自分たちで創る」ということです。

なお、ご意見などありましたらお寄せくださるようお願いいたします。

武校区まちづくり協議会



目 次

◆ 武校区まちづくりプラン策定のねらい

I 武校区の概要

1 武校区の沿革	1
2 武校区の人口	1
3 武校区のすがた	2
4 武校区安全・環境マップ	3
5 武校区の風景	4
(1) まちの風景	
(2) 行事・活動の様子	

II 武校区まちづくりプラン

1 計画の期間	6
2 武校区まちづくりの目標	6
(1) まちづくりのスローガン	
(2) 運営方針	
3 まちづくり協議会組織	6
4 武校区の現状・課題・これからの取組	7
(1) 武校区の環境の現状と課題	
(2) 各部会の現状と課題、これからの取組	
ア まちづくり推進部会	8
イ ふれあい福祉部会	9
ウ 生涯学習部会	10
エ 健康づくり部会	11
5 活動の体系表	12
6 武校区まちづくりプラン（振興計画）	14

III 資料編

1 プラン策定の経過	26
2 プラン策定委員会名簿	27
3 アンケート調査結果	28

I 武校区の概要

1 武校区の沿革

(1) 武校区の沿革

鹿児島市西南部の丘陵地である武岡と新川の流域に広がる地域の中央を占める「武」「唐湊」「田上」及び「上荒田」周辺は、近世の頃から用水と田園の開拓が進み、大正2年、鹿児島線の開通に合わせて武駅が設置され、指宿線の開通もあり、関連施設である工機部等が設置された。また、昭和12年には武小学校が開校し、令和元年度で、創立83年を迎えた。

武校区は、武1～3丁目、唐湊1・2丁目、上荒田町の一部及び田上2丁目の一部からなり、令和元年10月1日現在、世帯数約6,650、人口約11,800人が暮らしている。

平成30年2月4日に、これまで校区民のつながりを支えてきた校区公民館運営審議会を発展的に解消し、「武校区まちづくり協議会」を設立した。協議会設立後は、各町内会や賛同する構成団体が一堂に会し、旧校区公民館運営審議会関連の組織、校区社会福祉協議会及び校区あいご会等が連携し合って、安心安全、環境美化、青少年健全育成、生涯学習及びスポーツ、環境浄化等の分野において、住民が協力してまちづくりに取り組んでいる。

武校区は、鹿児島中央駅に近接する鹿児島市の中心部に位置し、常盤・武岡・新武岡の3本のトンネルと縦横に走る幹線道路があり、県都鹿児島市と周辺を結ぶ交通の要衝となっており、多くの県民が行き交う地域である。

九州新幹線開工の際に発見された武遺跡は、鹿児島中央駅の下に広がる約5千年前の縄文時代から人々が生活してきた土地で、古墳時代には多くの人が住んでいた集落があり、竪穴住居があつてその周辺に溝が廻らされていたことがわかっている。

(2) 武校区にある地名の由来

＜武＞ 地名の由来は、産土神である建部神社に因む説と、当地域に稲田が多かったため、「田毛」（タケ）と言われるようになったという説がある。武村は、南北朝期から戦国期に見える村名である。（鹿児島県地誌より）

＜唐湊＞ 唐渚（トウショ）とも書き、「・・・昔時は、海岸で漢土の船舶を繁泊せしを以て唐渚の名あり。今変じて田や人家がある・・・」と記されている。

（鹿児島県地誌より）

＜上荒田＞ 鎌倉期から戦国期にみえる荘園名である「荒田」の地域で、明治44年に一部を西武田村に編入し、同時に上荒田と改称した。

＜田上天神＞ 田上は、鎌倉期から戦国期にみる村名である。大永3年の坪付に「薩摩国鹿児島郡田かミ名之内とあり、戦国期には、田上名とよばれたのであろう。」と記されている。（鹿児島県地誌より）

2 武校区の人口

(1) 町丁別の世帯数と人口（男・女） ＜令和元年10月1日現在＞

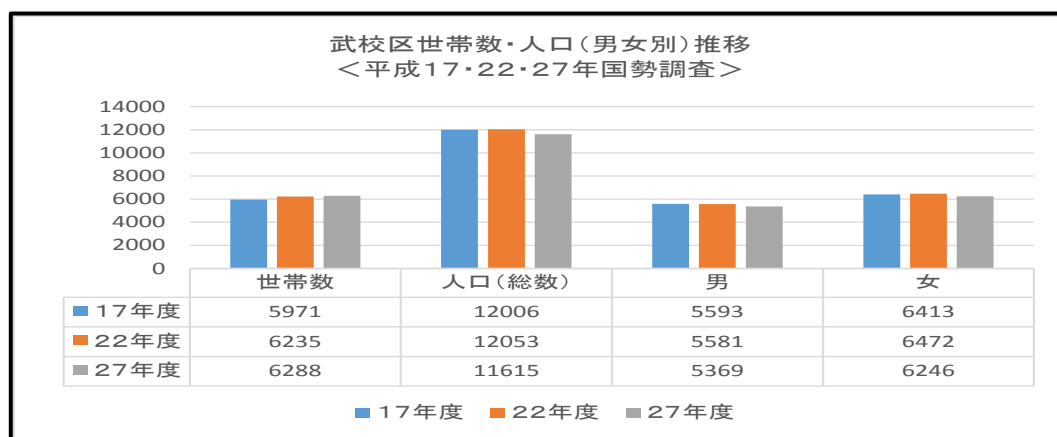
※ 武、唐湊は、「鹿児島市統計人口町丁別基礎表」より。

※ 上荒田、田上天神の世帯数は、町内会で調査。

なお、総人口・男・女については、比率で算出。

町名	世帯数	総人口	男	女
武（1～3丁目）	4,049	7,221	3,175	4,046
唐湊（1・2丁目）	1,781	3,068	1,535	1,533
上荒田（一部）	440	783	286	497
田上天神（田上2丁目）	384	684	250	434
計	6,654	11,756	5,246	6,510

(2) 武小学校区世帯数・人口（男女別）の推移 <平成17年・22年・27年国勢調査>



3 武校区のすがた

武校区は、武町一帯と田上・唐湊・天神の一部・上荒田町の一部からなる、J R鹿児島中央駅西口から武岡及び新川の流域に広がる住宅地で、北西に武岡をひかえ、南西に鹿児島本線と指宿・枕崎線が走っている。平成16年3月13日に九州新幹線が開通し、また、常盤トンネルや新武岡トンネルができたことで、県都鹿児島市の交通の要衝として交通量も増えている。

◆ 町内会

- 武町内会
武1丁目・2丁目・3丁目
- 田上天神町内会
田上2丁目
- 上荒田町内会
(上荒田町の一部、11・12区、Fステージ)
- 唐湊城ヶ平町内会
- 唐湊山の手町内会
- 唐湊みどり町内会

◆ 公共機関

- 武消防分団
- 武校区まちづくり協議会
- 武福祉館
- 唐湊福祉館
- 市民サービスステーション
- 自衛隊連絡所
- 武校区公民館

◆ 交通・道路

- 国道3号線（バイパス）
- 県道35号永吉・入佐・鹿児島線
- 県道24号鹿児島・東市来線
- J R九州新幹線
- J R鹿児島本線
- J R日豊本線
- J R指宿・枕崎線
- 鹿児島インターチェンジ
- 常盤トンネル
- 武岡トンネル
- 新武岡トンネル
- 宮田通り
- 城西通り
- 柳田通り

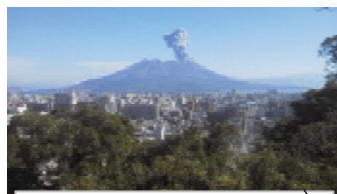
◆ 文教・社会福祉等施設

- 武小学校
- 武中学校
- 武幼稚園
- 武保育園
- 柳田保育園
- エンジェルキッズ保育園
- 武児童クラブ

◆ 史跡・その他

- 「徳の交わり」座像
- 建部神社
- 長島美術館
- 武遺跡
- 新川水神碑
- 田之神さあ
- 西随神
- 武小学跡碑
- 明治十年戦没薩軍 砲台跡碑
- 西郷公園、武岡公園

4 武校区安全・環境マップ



武中学校から桜島を望む

西郷公園



徳の交わり座像

常盤トンネル



薩摩切子の塔



田の神



武小学校



武校区まちづくり協議会事務局
住所: 武1-35-31 校区公民館1F
☎202-0706 Fax202-0509

唐湊稲荷神社



武校区の位置



指定緊急避難所
指定緊急避難場所

子ども110番の家

防空壕・がけ等

不審者出没箇所

交通危険箇所

遊んだり
泳いだり禁止



5 武校区の風景

(1) まちの風景



アミュランから武校区を望む



武3丁目から唐湊方面



城ヶ平橋から田上天神方面



建部神社から中州陸橋方面



武岡トンネル入口



宮田通り



校区を線路が分ける



JR 鹿児島中央駅西口

(2) 行事・活動の様子



プラン策定委員会（アンケート集約）



プラン策定委員会（部会会議）



立志のつどい



第2回定期総会



ふれあいグランドゴルフ大会



校区親睦体育大会



ソフトバレーボール・ソフトボール大会



校区文化祭&PTA バザー

II 武校区まちづくりプラン

1 計画の期間

2020年度～2024年度（令和2年度～令和6年度）＜5か年間＞

2 武校区まちづくりの目標

(1) まちづくりのスローガン

人と街 みんなで創る 武校区 ～未来輝く 明るく住みよい まちづくり～

(2) 運営方針

- ア 校区住民が、連帯意識をもって地域の環境整備を図り、校区民が主体となったまちづくりを進める。
- イ 校区住民みんなが参加し、未来等への希望を出し合い、共に助け合いながら、まちづくりを進める。
- ウ みんなで創るまちづくりの目的を基本に、各構成団体間の連携、協働の取組を推進し、効率的に活動するため、役割を分担する運営組織により柔軟に活動を進める。
- エ 広報活動の充実に努め、まちづくりの情報の共有、諸活動への参加意識を啓発する。
- オ 地域課題、住民の声を大切にされたコミュニティプランを策定し、自助・共助・公助の連携により事業プランの実現を目指す。

3 まちづくり協議会組織



4 武校区の現状・課題・これからの取組

(1) 武校区の環境の現状と課題

《現状》

- 田上川・武岡の自然とともに、あらゆる交通機関が集散する中央駅西口から、新幹線・在来線に囲まれ連なる地域で、商店街・マンション及び木造戸建て住宅が混在する利便性の高い地域である。
- 武校区の丘陵部は、土砂災害警戒区域または急傾斜地崩壊区域に指定された区域があり、また、平地の一部は新川の洪水浸水想定区域に指定された区域がある。
- 武岡公園は、風致公園としての整備が行われており、景観を生かした活動が期待されている。
- 人の移住等が頻繁な地域と逆な地域とが混在しており、その濃淡がある。
- 高齢化率は、市平均と変わらない。
- 家族構成では、一人が18.4%、二人が30.8%となっており、特に65歳以上の一人家族が多い。
- 武校区に住むことになったきっかけでは、新たな居住地との回答が50.9%となっており、マンションの増加が要因の一つと考えられる。
- 町内会の規模、加入形態は多様であり、加入率も低迷している。一方、マンションの地域づくりへの参画も、各町内会により異なる。従って、町内会活動も大きく異なっている。
- 校区や町内会等の活動・行事に参加したことがあるとの回答は70.3%で、参加のきっかけとしては、「回覧板や掲示板を見て」（31.0%）、「自分が役員になった」（30.5%）が多い。参加したことがないは29.7%で、その理由として、「仕事・家族・子育て・介護で忙しい」が39.3%、「時間が合わない」が31.8%となっている。
- 武校区は住みやすいとの回答が94.8%となっており、その理由として「生活が便利」が79.9%と最も多い。住みにくいとの回答が5.2%で、その理由として、「生活が不便」（28%）・「安心安全面に不安がある」（26.5%）、「子育て、教育環境がよくない」（15.9%）等があげられており、校区内でも生活環境に違いがある。

《課題》

- 武校区は、武、田上天神、唐湊及び上荒田から成り立っており、その経緯から行政、警察、消防等の管轄が異なり、校区組織である防犯団体連合会、衛生組織連合会及び社会福祉協議会等の活動にも影響しており、連携を進めるには工夫が必要である。
- J R鹿児島線と田上川及び幹線道路により街並みが分断されており、相互交流の工夫がもう一つ必要である。
- 町内会の活性化について、生活環境等の身近な課題を担うのは、まず、町内会等单位団体であり、活動を充実するには、加入によるつながりが必要である。また、そのことが、校区全体への参加につながる。さらに、大型マンション、町内会の特殊性等にどう対処するかが課題である。
- 日頃、不安に思うこととして、災害では、「地震」（47.9%）・「大雨による土砂災害・水害」（21.6%）、生活面では、「交通事故」（31.3%）・「不審者等子ども・女性に対する犯罪」（31.0%）があがっている。
- 安心安全面で、地域で充実してほしいこととして、「防犯活動」（33.0%）、「AED、防犯カメラ、非常放送設備等設置」（22.2%）があげられている。
- 小・中学生の「どのようなまちになったらよいか」の回答では、小学生は、「安心安全なまち」、「地域の歴史・文化を大切にするまち」、「福祉や生涯学習が盛んなまち」の順で、中学生では、「安心安全なまち」、「福祉や生涯学習が盛んなまち」、「地域の歴史・文化を大切にするまち」の順に多かった。

(2) 各部会の現状と課題、これからの取組

ア まちづくり推進部会

《現状》

- 安心安全ネットワーク会議を組織し、必要な情報共有や活動を連携して行っている。児童の集団登下校の見守りや防犯パトロール等の実施をとおして、校区民の安全安心に関する意識を高めている。
- 「夏祭り」や「おはら祭り」への参加をとおして、校区民の絆を深めるとともに、ボランティア精神の醸成と地域への一体感や愛情を育てている。
- 災害時危険箇所点検や避難訓練等をとおして、校区民の防災意識を高めている。
- アンケート結果によると、校区や町内会等の広報誌や回覧板はよく見ているという結果が出ており、内容の中では、「安心安全に関する情報」、「校区の行事・活動の案内」に関心が高い。
- 校区や町内会活動等の活性化に必要なこととして、「活動等の情報の提供や広報」に37.5%、「若い人や転入者が参加しやすい工夫」に34.0%の回答があった。また、活動の充実、町内会未加入者への働きかけ等もあがっている。
- 生活環境をよくする取組として、「防犯・防火に関する安心・安全対策」(39.1%)、「災害時における組織的な安心・安全対策」(27.6%)、「交通安全、見守り活動等」(18.6%)、「環境美化等促進活動」(9.5%)等があげられている。

《課題》

- 幹線道路、トンネル等が縦横に走っており、通過車両による交通渋滞と混雑は、安全面から多くの課題がある。加えて、大型マンションの開発、総合的商業施設の開発が予定されており、交通事情の改善は論を待たない。また、武中学校に通う道路の一つは崖下を通っており、もう一つは建部神社の参道に続く急傾斜地の階段道で、道路の態をなしていない状況で不安がある。
- 現在の町内会の加入率は、市の平均を下回っている。町内会及び大型マンション管理組合は、街づくりの基盤であり、身近な課題について、継続的な活動ができるように協力し、連携を強めていくことが大切である。
- 少子化に伴い、子どもがいなくなった地域もあり、活動や情報提供などの配慮が必要である。
- 安心安全ネットワーク会議が取り組んでいるような校区全域にかかる活動ができる事業開発を検討し、既存団体とまちづくり協議会が連携していく工夫が必要である。
- 「住みやすい」と大半の人が感じている反面、生活環境に不安を感じる人もいるので、安心して生活できる環境を整えていく必要がある。
- 校区における諸活動の情報が、住民に届いていない面もあるので、関心を高めるうえで情報提供の充実を図る必要がある。

《これからの取組》

- 生活環境を良くするために、これまで実施してきたネットワーク会議の充実、暗がり点検・スクールガード活動の工夫・改善等に加え、青パト隊の設置や校区における防災計画の策定を新規に行う。また、クリーンシティ鹿児島・ポイ捨て散乱ごみ回収実践活動・防犯パトロール・交通安全教室等の町内会や諸団体の活動への支援・連携を強化していく。
- まちづくり協議会や町内会等の活動の周知を図るために、協議会だよりの定期発行と配布の工夫、諸行事等のポスター掲示、参加者募集周知の工夫等による広報活動、情報提供の工夫・改善等を図る。
- まちづくり協議会や町内会等の活性化のために、大型マンションへの働きかけを含む町内会加入促進活動の検討や活動内容の工夫・改善に取り組む。
- 安心安全で活気あるまちづくりを推進するために、安心安全マップの充実を図る。

イ ふれあい福祉部会

《現状》

- 介護予防、心身機能低下予防、生きがいづくり等を目的として、「唐湊いちょうの会」、「たてべ会」、「武町あけぼの」の3か所で、月2回「お達者クラブの活動」を実施している。
- 老人クラブ「若武会」では、早朝清掃、子どもの見守り、小学校・保育園との交流等をとおして世代間交流を行うことにより、地域に貢献している。
- 子ども同士の学び合いや母親同士の情報交換の場として、月1回、「子育てサロン」を開催している。バリエーションに富んだプログラムや季節行事等を楽しんでいる。
- 介護福祉の講話と実技指導を中心とした「介護講習会」を実施している。
- 校区内の長寿の方々を祝う「敬老会」を、各町内会で開催している。
- 大人・子ども・高齢者の異世代交流の機会として、毎年11月に「ふれあいグラウンドゴルフ大会」を開催している。
- 近所付き合いについてのアンケートでは、「あいさつ程度」や「たまに立ち話」という回答が約半数であったが、付き合いで大切なこととして、25.4%が「相談・助け合い」・「緊急時の助け合い」と答えている。
- アンケートでは、日頃の悩みや不安として、45.1%が「自分や家族の健康」をあげている。また、「子育て・子どもの教育」や「地域の人間関係」の悩みを抱えている人も、12.8%存在している。
- アンケートでは、悩みごとの相談相手については、84.1%が家族や親戚と答えており、地域は相談窓口としての機能を有していないことが分かった。しかし、地域の福祉を更によくするために必要なこととして、30.3%が「相談窓口開設・周知」と回答している。
- 「さりげない、無理のない、立ち入らない」見守り活動が、安否確認と迅速な連絡により、早い解決ができるように実施されている。

《課題》

- 武校区は、武、田上天神、唐湊及び上荒田から成り立っており、その経緯から行政、警察、消防等の管轄が異なり、校区組織である社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会等の活動にも影響しており、連携を進めるには工夫が必要である。
- 老人クラブ「若武会」では、会員の高齢化が進み、80歳代が60%になった。会の活性化を図るためにも、参加人数を増やしていくことが課題であるが、他のクラブにおいても同様の悩みがある。
- 子育てサロンや幼稚園・保育園が開催する「ふれあい広場」等に参加する親子はよいが、参加できない（しない）子育て家庭があり、子育てに関する実態が捉えにくい。「子育てサロン」等の周知と保健センターとの連携を密に図る必要がある。
- 地域の福祉を更によくするための取組として、「情報提供」を28.4%が挙げており、まちづくりを活性化するためにも、情報提供の工夫が必要である。

《これからの取組》

- 多くの校区民がこれからの課題としてあげている「自他の健康問題」や「高齢者一人世帯（65歳以上18.5%、内277世帯中192世帯69.3%が一人暮らし）への対応」について、協議会としてできる取組として、「認知症」「相互交流会」に関する活動を企画し、校区民全体で健康なまちづくりに取り組んでいく。
- 高齢者支援については、高齢者クラブ・老人クラブ・お達者クラブのメンバーの高齢化や減少に対応するとともに、引きこもりがちな高齢者への対応のための交流会活動を推進する。
- 孤立子育て家庭をつくらないために、子育てサロンや幼稚園・保育園の交流活動等を工夫する。

ウ 生涯学習部会

《現状》

- 毎年9月下旬頃の武小学校PTAバザーの開催日に、校区文化祭を実施している。幼稚園・保育園・小学校・中学校・町内会・お達者クラブ・有志等が、日頃の学習成果を舞台や展示で発表している。
- 毎年1月第3土曜日に、「元服」に因み、中学校2年生を対象に「立志のつどい」を開催し、講演や先輩等の体験談を聴いたり、将来の夢を語ったりしている。校区内の全中学2年生が対象であるため、武中学校以外の中学2年生にも案内を出している。
- 青少年健全育成実行委員会を組織し、青少年の健全育成を目的に活動する団体が、年2回、情報交換や健全育成のための具体的活動の諸方策等を協議している。活動の一環として、市民あいさつ運動、交通安全、環境美化を努力目標としており、また「生活環境点検」・「巡回補導」を実施し、安全マップの改善に生かしている。
- 社会学級（成人学級・女性学級・家庭教育学級）は、学級長や役員を中心に、人権問題や消費者教育をはじめ、学級生が希望する内容の講座等を取り入れ、充実した研修を行っている。
- 「武の吉の秋祭り」では、西郷屋敷跡公園の「徳の交わり座像」の清掃等をとおして、西郷さんの遺徳をしのぶとともに、「西郷どんの遠行」において、連帯感の楽しさと体力向上を図っている。
- 武・田上公民館における活動（地域総合文化祭、ユースドリームフェスティバル）において、舞台発表や展示発表、また、実行委員として参加し、他校区との文化交流を図っている。

《課題》

- 校区文化祭については、武小学校PTAバザーと同時開催することにより参加者は多いが、舞台発表とバザーの飲食が、体育館で同会場・同時間に行われるため、発表の声などが聞こえないという観客からの声がある。
- 「立志のつどい」は、校区内の全中学2年生が対象者であるが、武中学校以外の生徒への呼びかけが届いていない場合がある。全員の参加のためには、武中学校以外の生徒への参加呼びかけを工夫する必要がある。
- 青少年健全育成実行委員会の中で「生活環境点検」・「巡回補導」を実施しているが、実効性を高めるために、実施日時を工夫・改善する必要がある。
- アンケート結果をみると、社会学級に参加したことがないとの回答が83.7%であった。社会学級の目的は、学級生一人ひとりの知識・技能の習得もあるが、地域に貢献する人材を増やすこともある。学級生を増やすためにも、広報活動の工夫と内容の改善を図る必要がある。
- アンケート結果から、高齢者と子どもたちの交流の機会が少ないことが課題にあげられている。
- 西郷屋敷跡公園には、「徳の交わり座像」等があり、その伝承活動を工夫する必要がある。

《これからの取組》

- 校区民の文化活動に対する意識を高めるために、文化祭の充実に取り組む。具体策として、学校・PTAと協議し、会場設定や内容等について工夫・改善を図る。
- 「立志のつどい」の担当者が、各中学校へ直接出向き、その目的や実施内容を知らせることにより、校区をあげて全対象者をお祝いできるようにする。
- 青少年健全育成実行委員会においては、毎年、環境点検や巡回補導を実施することをとおして、社会の変化に対応した生活環境づくりを行う。また、協議内容を生かすため、安心安全ネットワーク会議やスクールゾーン委員会とも連携して、関係団体が同じ視点で児童・生徒を見守る態勢をつくる。
- 社会学級生確保のために、「協議会だより」による広報の充実を図るとともに、アンケートで講座開設希望のあったものを盛り込むなど、内容の改善を図る。
- 高齢者と子ども、子どもと親など、世代間で交流ができる活動の充実を図っていく。

エ 健康づくり部会

《現状》

- アンケート結果から、健康・体力づくりとしてウォーキングやラジオ体操に取り組んでいる人が44.3%いることが分かるが、そのほとんどが40歳以上である。また、運動をなにもしていないとの回答が、37.6%で、20～40歳に多い。
- 校区民の絆づくりを目的に、「校区親睦体育大会」を、毎年9月下旬の日曜日（午前中）に、武小学校を会場として、町内会対抗で開催している。アンケートの回答では、32.5%が参加している。
- 毎年6月下旬の日曜日（午前中）に、「スポレク大会」を実施している。参加者は、校区内在住、または、校区に職場がある18歳以上の男女で、スローピッチソフトボールとソフトバレーボールの2競技を行っている。ニュースポーツを広める目的もあるが、アンケートでは、18.5%が参加したことがあると回答している。
- グラウンドゴルフについては、ふれあい福祉部会が主催する「ふれあいGG（グラウンドゴルフ）大会」（高齢者と児童が交流）への支援を行っている。また、地域公民館が主催する「地域グラウンドゴルフ大会」（他地域の高齢者との交流）については、健康づくり部会が中心となって、参加申込み等の取りまとめを行っている。
- 町内会では、ウォーキングや健康体操等を企画し、スポーツ推進員の指導のもと、校区民の健康の保持・増進を図っている。
- 青少年の体力向上を後押しするために、スポーツ少年団の支援を行っている。
- 町内会における健康体操の取組や自主サークル活動（グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール）など、自主的に健康・体力の維持・増進に取り組むグループもみられる。
- 武・田上公民館で行われる地域体育大会に参加し、地域の絆を深めるとともに、他校区とのスポーツをとおして交流を図っている。

《課題》

- 高齢者は、ウォーキングなどで健康・体力の維持に取り組んでいるが、20～40代の親世代の運動に親しむ機会の確保や意識を高める取組が課題である。
- 町内ごとの住民数や年齢層に差があるため、校区親睦体育大会の出場者が確保できない町内会が出てきているため、競技内容の見直しや参加人員確保などが課題となっている。
- アンケートの中に、開いてほしい講座として、ヨガや健康体操をあげている。健康体操は、町内会でも取り組んでいることから、広報の工夫が必要である。
- グラウンドゴルフは、ルールも易しく、幅広い年齢層で取り組める運動であるが、競技者が高齢者に偏る傾向にある。多くの人が参加できるような工夫が必要である。

《これからの取組》

- 校区民が一堂に会して運動に親しみながら絆を深めていく「校区親睦体育大会」を、多くの幅広い校区民が参加できるように、見直しを図る。
- 「スポレク大会」の工夫・改善を図ることにより、20代～40代の世代の運動に親しむ機会を充実させ、健康づくりのまちづくりに取り組む。
- 高齢者を中心に、健康維持・増進を目的とした活動の充実のために「ヨガ教室」を開設し、体を動かすだけでなく、運動の合間や終了時にティータイム等を設定し、憩いの場とする。

5 活動の体系表

◎ 協議会が協力・連携等を行う事業

スローガン	部 会 名	基本方針	活動の内容	具体的な事業名
人と街未来 みんなか で創るく 住みよい 武校区 まちづくり	まちづくり 推進部会	○ 構成団体が連携し、住民が共につながりあい、安心して暮らすための社会づくり ○ 地域の課題と実態を把握し、具体的なプランの作成 ○ 町内会活動の活性化	○ 広報活動 ○ 美化活動 ○ 防犯活動 ○ 防災活動 ○ 交通安全活動 ○ 町内会活性化活動 ○ 交流活動 ○ 商店街活性化活動	○ 協議会だより発行 ○ 武校区クリーンシティ作戦 ※ ポイ捨て散乱ごみ回収実践活動 ◎ ごみ分別指導 ○ 校区安心安全ネットワーク会議 ○ 通学路暗がり点検 ○ 登下校時の見守り活動 ○ 青色防犯パトロールの実施(車両による広域パトロール) ◎ 防犯パトロール ◎ 年末警戒パトロール ○ 校区における防災計画づくり(校区全体) ◎ 自主防災組織による防災計画づくり(町内会等单位) ◎ 災害時危険箇所点検 ◎ 避難訓練 ◎ 避難行動等要支援者リストへの協力 ◎ ナイトスクール ◎ 交通安全教室 ◎ 交通危険箇所点検 ○ 町内会の活性化、加入促進活動 ◎ 武の吉の秋祭り ◎ おはら祭り参加 ◎ 夏祭り ◎ 武岡ウォーキング ◎ サクラ祭り参加
	ふれあい 福祉部会	○ 少子高齢化社会に対応し、共に支え合う地域福祉社会の環境づくりの推進 ○ 高齢者福祉、障害者、子育て支援、見守り等の啓発・推進	○ 見守り活動の推進 ○ 高齢者の交流活動 ○ 高齢者と児童の交流活動 ○ 研修活動 ○ 子育て支援活動 ○ 高齢者との交流活動	○ 「オレンジリングをもらおう」運動 ◎ 見守り活動のつどい ○ みんなで行ってみっが、語ってみっが交流会 ◎ 老人クラブ ◎ お達者クラブ ○ ふれあいグラウンドゴルフ大会 ◎ 介護講習会 ◎ 子育てサロン ◎ 敬老会等

スローガン	部 会 名	基本方針	活動の内容	具体的な事業名
人と街 未来輝く 明るく住みよい まちづくり 武校区	生涯学習 部会	○ 家庭・学校・地域が一体となった文化、教育力の向上等、生涯学習社会の実現 ○ 青少年の健全育成の推進 ○ 生涯学習の推進	○ 文化交流活動（生きがいつくり活動） ○ 青少年育成活動 ○ 学び合い活動 ○ 世代間交流活動 ○ 季節行事継承活動	○ 校区文化祭 ○ 地域総合文化祭への参加 ○ 立志のつどい ○ 青少年健全育成実行委員会 ※ 生活環境点検 ○ 市民あいさつ運動 ◎ あいご会活動 ・ 西郷どんの遠行 ・ あいご会資源回収 ・ ユースドリームフェスティバル ・ つばめブロック子ども大会 ・ 夏休みラジオ体操及び清掃 ○ 成人学級 ○ 女性学級 ◎ 家庭教育学級 ○ ふれあいオセロ教室 ◎ 門松づくり
	健康づくり 部会	○ 地域住民の健康増進、ふれあいの機会の充実を図るレクリエーション、体育的行事等の推進 ○ 少年のスポーツ参加の支援	○ 交流活動 ○ 健康・体力づくり活動	○ 校区親睦体育大会 ○ 地域グラウンドゴルフ大会 ○ スポレク大会 ○ 地域体育大会への参加 ○ 高齢者のためのヨガ教室 ○ 健康体操 ○ スポーツ少年団支援



校区まちづくり協議会 最大のイベント校区親睦体育大会の風景



6 武校区まちづくりプラン(振興計画)

(令和2年度～令和6年度)

番号	担当 部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
1	まちづくり推進部会	○ 構成団体が連携し、住民が共につながりあい、安心して暮らすための社会づくり	広報活動	協議会だより発行	年6回発行する。協議会の活動の様子や案内等を掲載する。町内会等の回覧、構成団体への配布及び小学生をとおして家庭に届ける。
2			美化活動	武校区クリーンシティ作戦 ・ポイ捨て散乱 ごみ回収実践活動	年1回の「クリーンシティ鹿児島」に合わせて、自宅周辺の道路や公園のごみを拾う。
3				ごみ分別指導	町内会において、年4回程度のごみ分別指導を行う。また、花の植え替え等を行い、ごみステーションの維持管理をする。
4		○ 町内会活動の活性化	防犯活動	校区安心安全ネットワーク会議	年3回、安心安全に関して活動している諸団体代表が一堂に会し、安心安全に関する情報収集や提供を行い、連携の在り方や実践活動等について協議する。
5				通学路暗がり点検	児童クラブに所属している児童の保護者・児童クラブ支援員・構成団体が、年1回、共同で暗がりを点検し、問題箇所についての解決策を協議する。
6				登下校時の見守り活動	小・中学校の要請により、武校区見守りクラブを結成し、登下校時や放課後の不審者等からの見守り活動等を行うことによって、児童生徒の安全を確保する。
7				青色防犯パトロールの実施 (車両による広域パトロール)	校区住民で青色防犯パトロール隊を組織し、校区内を年52回以上、車で巡回する。
8				防犯パトロール	町内を定期的に巡回する防犯活動。月1回、歩いて巡回する。コンビニ、商店、暗がり、公園、ごみステーション、空き家等をまわる。
9				年末警戒パトロール	町内を、大人と子どもと一緒に拍子木をたたき、標語を唱えながら一巡し、防火・防犯の意識の啓発を図る。

事業効果	事業 種 別	実施スケジュール					備 考
		2	3	4	5	6	
校区住民に対し、まちづくりに関する啓発や活動内容を伝えることによって、住民の協議会への関心を高め、まちづくりへの参画を促すことができる。	継続	○	○	○	○	○	
市民総参加による美化活動をととして、市民として、また校区民として、きれいなまちづくりへの意識を高め、実践活動を促すことができる。	継続	○	○	○	○	○	
ごみの分別指導を行うことによって、分別の仕方に関する知識を得るとともに、環境問題やきれいなまちづくりへの意識を高めることができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
校区内における安心安全保持に係る諸団体が、安心安全に関する情報を共有したり、連携して実践活動を行ったりすることによって、安心安全なまちづくりができる。	継続	○	○	○	○	○	
校区の路上の暗がりや点検し、問題点の解決を図ることによって、児童クラブの帰宅時や校区民の安全確保ができる。また、点検結果をもとに危険箇所マップを作成することによって、危険情報の共有化を図れる。	継続	○	○	○	○	○	
校区民の各自が、できる時間帯に、できる見守り活動を随時行うことをととして、児童生徒の安全を確保するとともに、安心で安全なまちづくりへの住民意識を高めることができる。	継続	○	○	○	○	○	
パトロール活動をととして、児童生徒をはじめ校区民の安全確保とともに、安全意識の高揚、犯罪・事故の未然防止などを図ることができる。	新規	○	○	○	○	○	
町内会が定期的に巡回点検することをととして、環境の変化を即座に察知し、犯罪を抑止するとともに、防犯への意識を高めさせることが期待できる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
拍子木を叩きながらの防火・防犯の呼びかけによって、犯罪を防ぐことができる。また、大人と子どもが一緒に行うことで、伝統的な防犯のやり方や心構えを身に付けさせるとともに、継承させることができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会

武校区まちづくりプラン（振興計画）

（令和２年度～令和６年度）

番 号	担当 部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
10	まちづくり推進部会		防災活動	校区における防災計画づくり （校区全体）	災害時に避難所の運営を行うための具体的な活動マニュアルを作成し、日頃から運営訓練を行う。また、災害時は、マニュアルに沿って、避難所を運営する。
11				自主防災組織による防災計画づくり （町内会単位）	町内会で自主防災組織を立ち上げ、情報連絡体制の確立、要配慮者の把握、災害時危険箇所の把握、防災訓練等を行う。
12				災害時危険箇所点検	急傾斜地や崖下等の災害危険区域を巡回・点検し、気がかりな事項等を行政関係者と協議し、災害を未然に防止する。
13				避難訓練	町内会ごとに指定された避難所への避難訓練を行う。訓練の内容は、適時の避難、避難所への移動経路、避難所生活、避難所運営等を行う。
14				避難行動等要支援者リストへの協力	自主防災において、避難マニュアル作成の一環として、要支援者のリストアップと要支援体制を作成し、周知する。
15			交通安全教育活動	ナイトスクール	高齢者のための夜間の交通教室。自動車学校において、夜間における人と車両の関係や夜間歩行の留意点等について講義と実技研修を行う。
16				交通安全教室	警察や交通安全センターによる講話や安全歩行指導、また、自転車の正しい乗り方の実技講習などを行う。
17				交通危険箇所点検	定期的に、交通安全上の気がかりな箇所を点検したり、アンケート調査をしたりするとともに、改善策等について協議し、行政機関に要望する。

事業効果	事業 種 別	実施スケジュール					備 考
		2	3	4	5	6	
災害時の身近な避難所運営を、身近な校区民が行うことで、迅速に避難所が開設でき、校区民に安心感を与えることができる。また、校区の実態や校区民に応じた対応が期待できる。	新規	○	○	○	○	○	危機管理課・町内会 自主防災組織
町内の住民が協力し、災害に備える活動を自主的に行うことをとおして、自分の命や財産、また、自分が生活しているまちを自分たちの手で守るという気概を持たせ、自主防災による災害に強いまちができる。	新規	○	○	○	○	○	町内会
地域の事情をよく理解している地域住民が危険箇所点検を行うことによって、実態により応じ、即時対応できる防災マップを作成することができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
避難訓練を定期的に、また想定を変えて実施することにより、災害時にスムーズな避難ができる。また、訓練を行うことにより、災害時の備えや助け合いの必要性を確認できる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
災害時の要支援者リストを作成し、支援体制を確立させることによって、迅速・安全に避難し、被災者を出さないことができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
夜間における交通安全上の問題点を、実技をとおして学ぶことにより、交通事故から身を守る術を身に付けるとともに、歩行者・運転者共に、安全意識が高まり、安全なまちづくりが期待できる。	継続	○	○	○	○	○	西警察署
交通安全に関するルールやマナーの指導、実技をとおした安全指導等をとおして、校区民の自分の身は自分で守るという意識や安全なまちづくりへの意識を高めることができる。	継続	○	○	○	○	○	交通安全協会武支部
日頃から、交通安全上の課題について、点検やアンケートを実施することによって、安全なまちづくりができる。また、安全に関する校区民の意識を高めることができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会

武校区まちづくりプラン（振興計画）

（令和２年度～令和６年度）

番 号	担当 部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
18	まちづくり推進部会		町内会活性化活動	町内会の活性化、加入促進活動	ごみステーション美化活動、見守り活動、防災・防犯活動等を充実させ、アピールすることによって加入を働きかけ、町内会活動を活性化させる。
19			交流活動	武の吉の秋祭り	子どもから大人までが一緒になり、「徳の交わり座像」の清掃・講話昔遊びなどをとおして、西郷の教えを学ぶ。
20				おはら祭り参加	鹿児島市最大の祭りである「おはら祭り」に、町内の小中学生・大人が合同練習をし、連をつくり祭りに参加する。
21				夏祭り	各町内会で、実行委員会・青年部・あいご会等が中心となって、灯籠作り・七夕飾り作り・子ども御輿・舞台発表・出店等を企画し、実施する。
22				武岡ウォーキング	西郷公園（徳の交わり）を起点に3世代交流を行いつつ、郷土の文化・歴史・自然を知るまち歩きを行う。
23			商店街活性化活動	サクラ祭り参加	町内会だよりで、「サクラ祭り」の紹介や参加の呼びかけを行う。また、サクラ祭りの一角に、まちづくり協議会の案内ブースを設け、事業内容等を紹介する。
24	ふれあい福祉部会	○ 少子高齢化社会に対応し、共に支え合う地域福祉社会の環境づくりの推進	見守り活動の推進	「オレンジリングをもらおう」運動	年1回武・唐湊・上荒田・田上の4箇所、小学校4年生以上の児童生徒と大人を対象として「認知症サポーター養成講座」を実施し、校区民のオレンジリング（認知症サポーターの印）獲得を促進する。
25				見守り活動のつどい	「さりげない、無理のない、立ち入らない」見守り活動を、できる範囲で行うことにより、安否確認や迅速連絡により、早い時期での問題解決につながるようにする。

事業効果	事業 種 別	実施スケジュール					備 考
		2	3	4	5	6	
町内会やまちづくり協議会が行っている様々な活動を充実させることによって、町内会未加入者も含めた校区民に、町内会や協議会の必要性を感じ取らせることができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
校区にある史跡「徳の交わり」について学習することをとおして、郷土の偉人や歴史を大切に思う気持ちを育むとともに、武校区への愛着を持たせることができる。	継続	○	○	○	○	○	おやじの会
全市的な郷土の祭りに全ての世代が共に地域で参加することにより、伝統文化の継承への意識を高めるとともに、郷土への一体感の醸成を図ることができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
地域が地域のために企画する夏祭りを、地域住民全体で楽しむことをとおして、地域の絆を深めることができる。また、運営にかかわるボランティアを募ることにより、地域を担っていく人材の養成が期待できる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
子供から大人まで一緒になってまち歩きをする中で、郷土やまちの昔を偲び、今後を考える機会となり、今後のまちづくりに取り組むうえで、関心を高めることができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
町内会だよりで、サクラ祭りの紹介や参加の呼びかけを行うことによって、商店街の活性化に寄与することができる。また、地域住民に、協議会や町内会の活動の周知を図ることができる。	継続	○	○	○	○	○	宮田通り会
校区民の多くが「認知症サポーター養成講座」の受講をとおして、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になることによって、校区民が住み慣れた武地域で「その人らしい生活」を続けられることが期待できる。	新規	○	○	○	○	○	市長寿あんしん相談センター
見守り活動の実施とともに、活動に必要な知識とスキルの向上のため、「見守り活動のつどい」を年1回開催することによって、実践の充実と住民の意識向上を図ることができる。	継続	○	○	○	○	○	社会福祉協議会 町内会

武校区まちづくりプラン（振興計画）

（令和２年度～令和６年度）

番号	担当 部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
26	ふれあい福祉部会	○ 高齢者福祉、障害者、子育て支援見守り等の啓発・推進	高齢者の交流活動	みんなで行って みっが、語って みっが交流会	校区内の老人クラブ・お達者クラブ員が、年１回、一堂に会し、交流茶話会や見学研修旅行などを行う。呼びかけは、クラブ員だけでなく、校区全体に行う。
27				老人クラブ お達者クラブ	各クラブにおいて、月２回程度、介護予防のための体操や創作活動、ボランティア活動、レクリエーション、世代間交流等を行う。
28			高齢者と児童の交流活動	ふれあいグラウンドゴルフ大会	老人クラブ、あいご会、児童クラブ等を組み合わせたチーム編成を行うことにより、異世代間のふれ合いや相互理解を深める。また、園児ゾーンを設けて、遊びの場を提供し、親しみを深める。
29			研修活動	介護講習会	介護福祉に関する講話と実技研修をとおして、介護される人への声かけや心遣いの大切さ、また、介護する人の体の負担にならない介護技術を学ぶ。
30			子育て支援活動	子育てサロン	月１回、民生委員や武幼稚園の協力で、未就園児とその親を対象に、武町公民館で開催。子ども同士の遊び、季節に関するものの製作、母親の交流等を行う。
31			高齢者との交流活動	敬老会	町内会でそれぞれ工夫して、祝い品や記念品の贈呈、弁当及び幼児・児童・生徒からのお祝いカード贈呈・余興の披露などによって、長寿を祝うとともに、世代間の交流を図る。
32	生涯学習部会	○ 家庭・学校・地域が一体となった文化、教育力の向上等、生涯学習社会の実現	文化交流活動（生きがいきり活動）	校区文化祭	毎年９月下旬の日曜日に、幼稚園・保育園・小学校・中学校、町内会、その他有志等が、日頃の学習の成果を、舞台発表や展示発表をする。
33				地域総合文化祭への参加	毎年開催される地域総合文化祭（武・田上公民館）に、１０名程度が役員として運営に係わるとともに、舞台発表や展示発表（社会学級等）も行う。

事業効果	事業 種 別	実施スケジュール					備 考
		2	3	4	5	6	
老人クラブ・お達者クラブ員が、一堂に集まって語り合ったり、校区外に出かけたりする活動をととして、各クラブの情報交換や人的交流をすることによって、連帯感を高めるとともに、クラブの参加者増を期待できる。	新規	○	○	○	○	○	
健康づくりや創作活動等をととして、心身の機能低下を防ぐとともに、生きがいづくりができる。また、ボランティア活動や世代間交流をととして社会貢献することによって、生きる価値や喜びを維持することができる。	継続	○	○	○	○	○	老人会 お達者クラブ
高齢者と児童が混ざり合ってチームを編成し、グラウンドゴルフをととして、グラウンドゴルフの楽しさを味わわせるとともに、高齢者と児童の相互理解を深めることができる。	継続	○	○	○	○	○	健康づくり部会
介護に関する講話や実技研修をととして、多くの校区民が抱えている家族の健康や介護に関する悩みや不安の解消の一助となること期待できる。	継続	○	○	○	○	○	社会福祉協議会
子ども同士が遊びをととして学び合うこと、母親同士が子育てについて語り合うことをととして、子育ての楽しさを発見させるとともに、孤立する子育て家庭防止に寄与する。	継続	○	○	○	○	○	社会福祉協議会
長寿を地域社会全体でお祝いすることをととして、高齢者を元気づけるとともに、高齢者を敬う心を育て、共に地域づくりを行っていく機運を高めることができる。	継続	○	○	○	○	○	町内会
幼児から高齢者までが一堂に会し、日頃の学習成果を発表したり、観賞したりすることをととして、生きがいづくりができるとともに、文化に親しむ環境づくりが期待できる。	継続	○	○	○	○	○	
地域の文化活動の成果を、校区内外の人々に対して発表することをととして、学ぶことのよさや楽しさを味わうとともに、評価を得ることができる。また、評価を得る喜びは、学び続ける意欲を喚起できる。	継続	○	○	○	○	○	武・田上公民館

武校区まちづくりプラン（振興計画）

（令和２年度～令和６年度）

番号	担当 部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
３４	生涯学習部会	○ 青少年の健全育成の推進 ○ 生涯学習の推進	青少年育成活動	立志のつどい	毎年１月の第３土曜日、武校区内の全中学２年生を対象に、「立志のつどい」を行う。講話や先輩の体験談、将来の夢の発表などをおして、立志を祝う。
３５				青少年健全育成実行委員会 ・生活環境点検	年２回、関係団体が集まり、青少年問題に関する情報交換や喫緊の課題への対応策等を協議する。 また、健全な教育環境づくりのために、生活環境点検を行い、安全マップの作成・改善を行う。
３６				市民あいさつ運動	校区住民みんなが参加し、登下校時の見守り活動の際、児童生徒と大人が相互にあいさつを交わす運動。地域住民へも、普段からあいさつを交わし合うことを呼びかける。
３７				あいご会活動	＜西郷どんの遠行＞ 西郷公園（「徳の交わり」）を起点にし、西郷南洲翁縁の地を巡りながらその遺徳を学ぶとともに、３世代の交流を図りながら、南洲神社まで歩く。 ＜あいご会資源回収＞ 年２回、地域住民に資源提供を依頼し、児童生徒・保護者が中心となって回収する。 ＜ユースドリームフェスティバル＞ 武・田上公民館地域内の小・中学校やあいご会等が、武・田上公民館において舞台発表等を行う。 ＜つばめブロック子ども大会＞ 近隣のあいご会が一堂に会し、活動報告やスポーツ交歓会を行う。 ＜夏休みラジオ体操及び清掃＞ 夏休み期間中の早朝に、小中学生が決められた場所に集まって、ラジオ体操を行う。また、公園等の清掃を行う。
３８			学び合い活動	成人学級	校区内の成人男女を対象に、学級長や役員が中心となって、年１０回人権問題や消費者教育等の様々な講座を企画・運営する。

事業効果	事業 種 別	実施スケジュール					備 考
		2	3	4	5	6	
立志を迎える中学2年生を、校区全体でお祝いすることとおして、大人へ近づいていく自覚や将来の夢を持たせるとともに、校区を担う存在であるということに目覚めさせることが期待できる。	継続	○	○	○	○	○	
次世代を担う青少年の健全育成を図るために、家庭・学校・地域が一体となって活動することによって、地域の子どもは、地域全体で育てるという気風を醸成し、豊かな生活環境づくりができる。	継続	○	○	○	○	○	
児童生徒と地域住民が、日頃からあいさつを交わすことで、地域に一体感が生まれ、安心安全な環境づくりができる。また、地域の中で、基本的な生活習慣を身に付けさせることは、地域の教育力の向上に繋がる。	継続	○	○	○	○	○	
<西郷どんの遠行> 西郷公園（「徳の交わり」）を起点とし、西郷南洲翁縁の地を巡ることをとおして、校区内外にある史跡に関心を持たせるとともに、郷土に誇りを持たせることができる。 <あいご会資源回収> 資源を大事にする気持ちや態度を育むとともに、回収をとおして、地域住民とのふれあいや地域貢献の意識を持たせられる。 <ユースドリームフェスティバル> 地域公民館において、地域内の小中学校の代表が舞台発表をしたり鑑賞したりすることとおして、文化交流を図る。 <つばめブロック子ども大会> 大会参加のための練習等をおして、一体感を高めることができる。 <夏休みラジオ体操及び清掃> 長期休業中の早朝に集まって、体操や清掃を行うことによって、生活のリズムを整えるとともに、美化活動への意欲を高めることができる。	継続	○	○	○	○	○	あいご会
一般的な教養や技能を修得するとともに、生涯学び続けようとする機運を高め、生活を豊かなものにすることができる。また、地域貢献への意識を高めることが期待できる。	継続	○	○	○	○	○	

武校区まちづくりプラン（振興計画）

（令和２年度～令和６年度）

番号	担当 部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容
３９	生涯学 習部会		学び合い活動	女性学級	校区内の成人女性を対象に、学級長や役員が中心となって、年１０回人権問題や消費者教育等の様々な講座を企画・運営する。
４０				家庭教育学級	小学校の保護者を対象に、学級長や役員が中心となって、年８回、基本的な生活習慣、人権教育、スマホ等の情報機器に関することなどの講座を企画・運営する。
４１			世代間交流活動	ふれあいオセロ教室	オセロゲームの基本を学び、高齢者と児童、親子等の組合せでゲームを楽しむことをとおして、世代間交流を図る。
４２			季節行事継承活動	門松づくり	おやじの会が中心となって、小学校正門の門松を作る。また、校区民が作るミニ門松の材料を準備し、門松の由来や作り方を指導する。
４３	健康づ くり部 会	○ 地域住民の健康・増進、ふれあいの機会の充実を図るレクリエーション、体育行事等の推進	交流活動	校区親睦体育大会	毎年１０月中旬の日曜日に、幼児から高齢者までが、チームに分かれて得点を競い合う。競技種目は、高齢者と児童、親子等の交流を目的としたものにする。
４４				地域グラウンドゴルフ大会	武・田上公民館主催のグラウンドゴルフ大会に、町内会単位で出場する。チーム編成に性別・年齢の制限はない。参加者の取りまとめを健康づくり部会で行う。
４５		○ 少年のスポーツ参加の支援	健康・体力づ くり活動	スポレク大会	１８歳以上の校区民や校区に職場がある人々で、町内会単位のチームを編成し、スローピッチソフトボールやソフトバレーボールを行う。
４６				地域体育大会への参加	武・田上公民館で行われる地域体育大会のソフトボール（２チーム）とソフトバレーボール（３チーム）に校区代表が参加し、競技をとおして校区内外の人々との交流を図る。
４７				高齢者のためのヨガ教室	高齢者を中心に希望者を募り、校区公民館等で、講師の指導のもと、ヨガを楽しむ。また、体を動かした後の情報交換として、語り場等も設定する。

事業効果	事業 種 別	実施スケジュール					備 考
		2	3	4	5	6	
一般的な教養や技能を修得するとともに、生涯学び続けようとする機運を高め、生活を豊かなものにすることができる。また、地域貢献への意識を高めることが期待できる。	継続	○	○	○	○	○	
家庭教育に関する共通の課題について、保護者同士で学習することとおして、よりよい子育ての環境づくりができる。また、保護者のネットワークづくりができる。	継続	○	○	○	○	○	小・中学校
小学生以上を対象に「オセロゲーム教室」を開催し、ゲームの対戦や教え合い等とおして、世代間交流を図ることができる。また、高齢者の脳の活性化が期待できる。	新規	○	○	○	○	○	
郷土に伝わる季節の伝統行事を継承することによって、季節を感じるよさを味わう機会とするとともに、郷土で生活することに愛着を持たせることができる。	継続	○	○	○	○	○	おやじの会
幼児から高齢者までが一堂に会し、様々な競技をとおしてスポーツに親しみ、個々の健康・体力の保持・増進を図るとともに、地域の世代間のつながりを深めることができる。	継続	○	○	○	○	○	
町内会単位で、年齢・性別制限なしのチーム編成をすることで、町内会内の絆づくりや世代間交流ができる。また、グラウンドゴルフに親しむことで、健康・体力の保持・増進が図れる。	継続	○	○	○	○	○	
スポーツに親しむ習慣や機会が少ない人々が、比較的親しみやすいニュースポーツをチームで楽しむことで、スポーツのよさを味わい、健康・体力の保持・増進の意識を高めるとともに、親睦を図ることができる。	継続	○	○	○	○	○	
校区内でチームを編成し、校区対抗の大会に参加することとおして、競技を楽しみながら校区民の絆を深めるとともに、他校区の人々との交流を図ることができる。	継続	○	○	○	○	○	武・田上公民館
アンケートで開設の希望が多かった高齢者にも取り組みやすいヨガを体で学んだり、ヨガの後の語り合いを楽しんだりすることとおして、心身の健康の保持・増進を図ることが期待できる。	新規	○	○	○	○	○	

Ⅲ 資料編

1 プラン策定の経過

年	月・日	会合名等	協議内容等
平成 30年	4月16日(火)	役員会	・まちづくりプランの概要説明
	5月11日(土)	定期総会	・プラン策定計画(スケジュール、予算案等)
	5月15日(火)	役員会・部会合同会議	・まちづくりプランの概要説明、プラン策定の進め方、プラン策定スケジュール
	6月19日(火)	役員会	
	8月 8日(水)	役員会	
	9月13日(木)	役員会 プラン策定委員会発足	・プラン策定委員会の構成員 ・プラン策定スケジュール
	10月11日(木)	役員会 プラン策定委員会	・アンケートの質問内容 ・アンケート配布先(依頼先)
	11月 8日(木)	役員会 プラン策定委員会	・アンケートの実施方法(回収方法、集計方法、活用方法等)
	11月13日(火)	プラン策定委員会	・3各部会推進計画
	11月15日(木)	プラン策定委員会	・1部会推進計画
	11月22日(木)	プラン策定委員会	・アンケート印刷
	11月26日(月)	役員・協力員	・アンケート発送準備
	11月27日(火)	役員・協力員	・アンケート発送準備
	12月14日(金)	役員会 プラン策定委員会	・アンケートの進捗状況 ・アンケートに関する今後の計画
平成 31年	1月10日(木)	役員会	
	1月23日(水)	役員・協力員	・アンケート回収、分別
	1月25日(金)	役員・協力員	・アンケート回収、分別
	1月27日(日)	役員	・アンケート分析
	1月28日(月)	役員	・アンケート分析、PC投入
	1月30日(水)	役員	・アンケート分析、PC投入
	2月14日(木)	役員会	
	3月14日(木)	役員会	・プラン策定の進捗状況、アンケート分析の役割分担、プラン策定のスケジュール
	4月 4日(木)	部会(生涯学習部会)	・プラン策定の手順、今後の部会の進め方
	4月 9日(火)	部会(ふれあい福祉部会)	・プラン策定の手順説明・アンケート集計結果・分析シート・振り返りシートからみた部の課題
	4月11日(木)	役員会	
	4月16日(火)	部会(健康づくり部会)	・プラン策定の手順説明・アンケート集計結果・分析シート・振り返りシートからみた部の課題
	4月26日(火)	部会(まちづくり推進部会)	・アンケート分析と今後検討
	5月 8日(水)	部会(まちづくり推進部会)	・町内会、構成団体からのアンケート結果分析
令和 元年	5月11日(土)	定期総会	・プラン策定の進捗状況、プラン策定のスケジュール
	5月21日(火)	部会(ふれあい福祉部会)	・ふれあい福祉部会の実施事業の検討
	6月 6日(木)	部会(生涯学習部会)	・生涯学習部会の実施事業の検討
	6月10日(月)	部会(まちづくり推進部会)	・まちづくり推進部会の実施事業の検討
	6月11日(火)	部会(健康づくり部会)	・健康づくり部会の実施事業の検討

	6月13日(木)	役員会 プラン策定委員会	・各部会のプラン作りの進捗状況報告 ・プラン作成上の検討事項
	7月9日(火)	部会(生涯学習部会)	・現状と課題、体系表、振興計画の審議
	7月11日(木)	役員会 プラン策定委員会	・プラン策定上の統一事項等の確認 ・実施事業の調整
	7月18日(木)	部会(健康づくり部会)	・現状と課題、体系表、振興計画を審議
	7月22日(月)	部会(まちづくり部会)	・現状と課題、体系表、振興計画を審議
	8月2日(金)	部会(ふれあい福祉部会)	・現状と課題、体系表、振興計画の最終審議
	8月8日(木)	役員会 プラン策定委員会	・各部会の現状と課題、体系表、振興計画を全体で審議
	8月19日(月)	三役会	・現状と課題、体系表、振興計画の全体見直し
	8月30日(金)	部会(生涯学習部会)	・現状と課題、これからの取組の見直し
	9月3日(火)	三役会	・プラン内容の審議
	9月12日(木)	役員会 プラン策定委員会	・プラン内容の決定、目次の検討
	10月10日(木)	役員会 プラン策定委員会	・プラン全体の見直し
	11月14日(木)	役員会 プラン策定委員会	・プラン最終版の検討
	12月12日(木)	役員会 プラン策定委員会	・プランの校正

2 プラン策定委員会名簿

平成30年度		令和元年度	
氏名	まちづくり協議会役職	氏名	まちづくり協議会役職
西 正 行	会長	西 正 行	会長
佐 野 広 幸	副会長	井之口 武嗣	副会長
藤 豊 彦	副会長	藤 豊 彦	副会長
木之下 正人	事務局長	木之下 正人	事務局長
有馬 順一郎	まちづくり推進部会 部会長	有馬 順一郎	まちづくり推進部会 部会長
吉 岡 直 志	まちづくり推進部会 副部会長	吉 岡 直 志	まちづくり推進部会 副部会長
迫田 美智子	ふれあい福祉部会 部会長	迫田 美智子	ふれあい福祉部会 部会長
木 原 恵 子	ふれあい福祉部会 副部会長	木 原 恵 子	ふれあい福祉部会 副部会長
山 下 頼 厚	生涯学習部会 部会長	山 下 頼 厚	生涯学習部会 部会長
福 元 清 人	生涯学習部会 副部会長	福 元 清 人	生涯学習部会 副部会長
中 原 修 二	健康づくり部会 部会長	中 原 修 二	健康づくり部会 部会長
砂 本 貴 久	健康づくり部会 副部会長	鮫 島 俊 之	健康づくり部会 副部会長
中園 淳一郎	武三なすび塾 代表	中園 淳一郎	武三なすび塾 代表
神 戸 浩 一	鹿児島市PTA連合会副会長	神 戸 浩 一	鹿児島市PTA連合会副会長
内山 めぐみ	長寿あんしん相談センター武・田上 事業所長	西 野 浩 朗	長寿あんしん相談センター武・田上 事業所長
中 豊 司	鹿児島市役所 危機管理課長	中 豊 司	鹿児島市役所 危機管理課長

3 アンケート調査結果

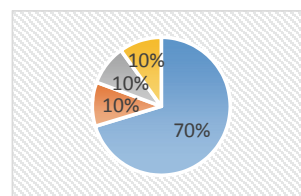
アンケート集約・分析表

平成30年9月から12月にかけて校区の皆様にご協力頂き実施したアンケート調査の一部(紙面の関係)です。

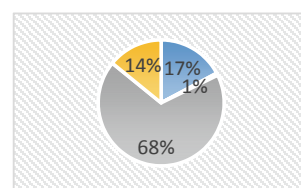
配布枚数	3,516	回収枚数	1642 (再 小91 中63)	回収率	47%
男性	527 (再 小41中31)	32%	女性	1,115 (再 小50中32)	68%

設問	選択項目	男	女	計
問1	現在、お住まいの町はどこですか。			
	ア 武	280	767	1,047
	イ 唐湊	45	109	154
	ウ 上荒田	40	100	140
	エ 田上天神	41	107	148
	計	406	1,083	1,489

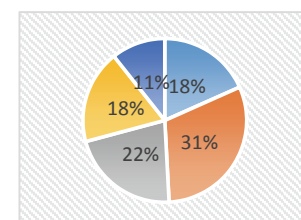
項目別比率



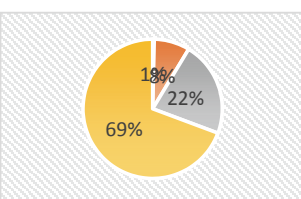
問2	あなたは満何歳ですか。			
	ア 20歳未満	53	201	254
	イ 20歳～40歳	3	5	8
	ウ 41歳～65歳	191	815	1,006
	エ 65歳以上	208	1	209
	計	455	1,022	1,477



問5	同居家族構成は。(本人含む)			
	ア 1人	67	210	277
	イ 2人	172	293	465
	ウ 3人	93	234	327
	エ 4人	58	221	279
	オ 5人以上	26	135	161
	計	416	1,093	1,509

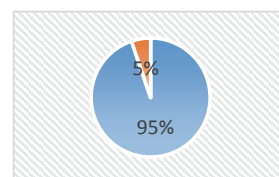


	一人暮らし内訳			
	ア 20歳未満	0	1	1
	イ 20歳～40歳	11	12	23
	ウ 41歳～65歳	23	38	61
	エ 65歳以上	33	159	192
	計	67	210	277

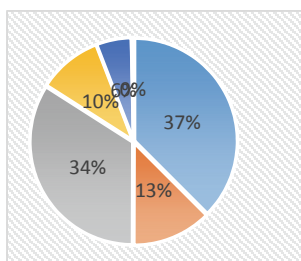


まちづくりと安心安全

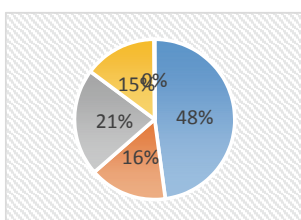
問6	地域は住みやすいと思いますか。			
	ア 思う	413	990	1,403
	イ 思わない	25	52	77
	計	438	1,042	1,480



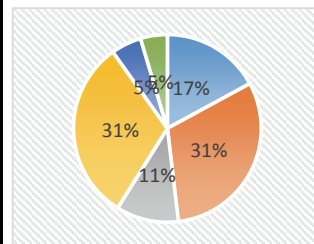
問12	校区や町内会活動の活性化のために、何が必要だと思いますか。			
	ア 活動等の情報の提供や広報	168	410	578
	イ 各種団体や事業所等との連携・協力できる工夫	59	134	193
	ウ 若い人や転入者が参加しやすい工夫	126	398	524
	エ 身近な諸活動の充実	36	120	156
	オ 役員組織の世代交代の促進	34	51	85
	カ その他	5	0	5
	計	428	1,113	1,541



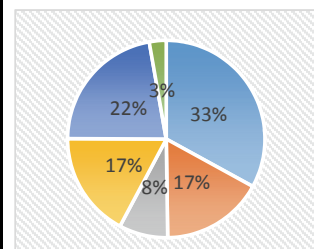
問14	災害について、日頃不安に思うことは何ですか。			
	ア 地震	246	766	1,012
	イ 桜島の噴火	108	224	332
	ウ 大雨による土砂災害・水害	132	325	457
	エ 台風	94	217	311
	オ その他	2	0	2
	計	582	1,532	2,114



問15	かねての生活面で、日頃不安に思うことは何ですか。			
	ア 空き巣	87	249	336
	イ 不審者等子供・女性に対する犯罪	128	483	611
	ウ 高齢者に対する犯罪	70	142	212
	エ 交通事故	200	415	615
	オ 空き家等の貰い災害	31	72	103
	カ 孤独死	30	61	91
	計	546	1,422	1,968

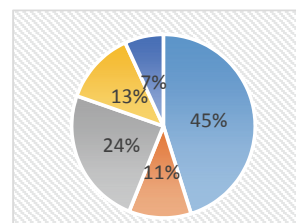


問16	安心安全面で、地域で充実してほしい活動は。			
	ア 防犯活動(パトロール、青パト等)	202	572	774
	イ 交通安全活動(登下校時見守り)	117	277	394
	ウ 自主防災活動(訓練、危険箇所点検、助け合いマップ充実等)	65	123	188
	エ 子供や高齢者の見守り活動	106	300	406
	オ AED、防犯カメラ、非常放送設備等	168	352	520
	カ 相談窓口の開設	18	47	65
	計	676	1,671	2,347

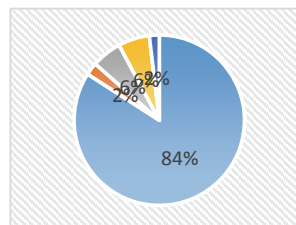


福祉に関すること

問19	日頃どのような悩みや不安を感じていますか。2つ以内でお願いします。			
	ア 自分や家族の健康	272	580	852
	イ 家族の介護	57	150	207
	ウ 自分の老後	142	316	458
	エ 子育てや子どもの教	39	203	242
	オ 地域の人間関係	48	81	129
	計	558	1,330	1,888

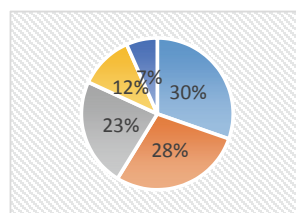


問20	悩みや不安を感じたときは、誰に相談しますか。			
	ア 家族や親戚・友人、知人・近所の人	376	967	1,343
	イ 町内会役員・民生委員・児童委員	12	26	38
	ウ 職場の人・学校の先生・公的機関	36	55	91
	エ 病院、介護事業所	34	61	95
	オ 相談できる人がいない	11	19	30
	計	469	1,128	1,597



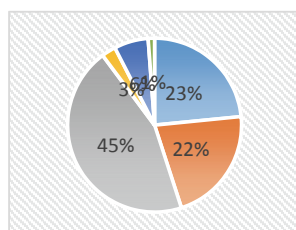
問21 地域の福祉を更によくするためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。

	ア 身近な相談窓口の開設や周知	175	431	606
	イ 福祉に関する情報提供	173	395	568
	ウ 子育てや高齢者等への支援	104	357	461
	エ 健康維持への機会の提供	63	167	230
	オ ボランティア活動への支援や参加	48	84	132
	計	563	1,434	1,997



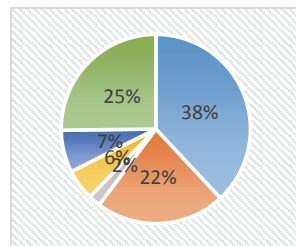
生涯学習・青少年健全育成に関すること

問22	日頃校区の子どもたちと、どのような関わりを持っていますか。			
	ア よく声をかけている	94	260	354
	イ 行事等で顔を合わす程度である	81	245	326
	ウ ほとんど触れ合いはない	236	441	677
	エ 学校支援ボランティアに参加している	8	32	40
	オ 悪いことをしたら注意する	25	71	96
	カ 関心がない	10	8	18
	計	454	1,057	1,511



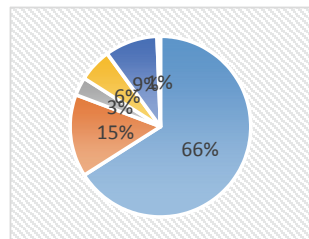
問24 最近の青少年問題について、気になることは何ですか。2つ以内でお願いします。

ア	いじめ	277	676	953
イ	不登校、ひきこもり	155	400	555
ウ	夜間徘徊	19	33	52
エ	暴力行為	29	103	132
オ	非行の低年齢化	53	128	181
カ	インターネットによるトラブル	183	448	631
	計	716	1,788	2,504



問25 青少年育成のためにあなたが協力できることは何ですか。

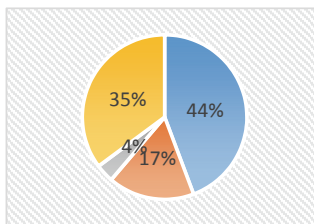
ア	子どもの登下校時のあいさつや声かけ	261	732	993
イ	困ったときに相談に乗ってあげる	65	157	222
ウ	スクールガード等の見守り	24	25	49
エ	学校支援ボランティア	30	60	90
オ	諸行事でのふれあい交流	45	97	142
カ	その他	7	2	9
	計	432	1,073	1,505



健康づくりに関すること

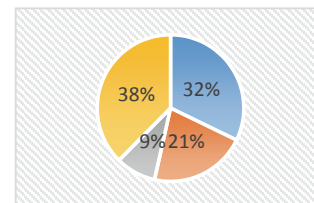
問28 健康づくり、体力づくりのために、日頃何かしていますか。

①	どんな方法で取り組んでいますか			
ア	ウォーキング、ラジオ体操	202	377	579
イ	スポーツクラブ、同好会等を活用	57	165	222
ウ	校区や町内会等各種イベントに参加	7	40	47
エ	何もしていない	155	305	460
	計	421	887	1,308



② どの程度取り組んでいますか。

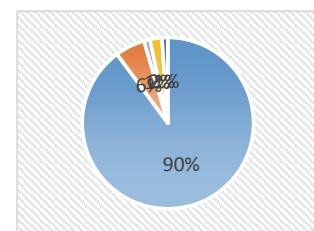
ア	週3～4回程度	144	268	412
イ	週1回程度	80	193	273
ウ	月1～2回程度	29	85	114
エ	殆どしていない	128	353	481
	計	381	899	1,280



《 小学生 》 4年生 男 女 計

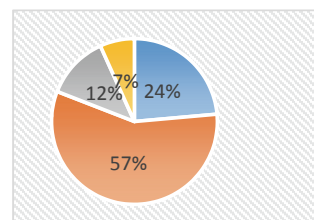
④ あなたは、家族と会話をしますか。

ア	よくする	34	46	80
イ	ときどきする	3	2	5
ウ	話しかけられたら話をする	1	0	1
エ	あまりしない	2	0	2
オ	まったくしない	1	0	1
	計	41	48	89

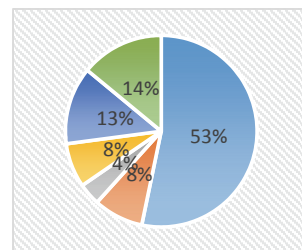


⑤ あいご会活動や校区内の行事などに参加していますか。

ア	いつも進んで参加している	7	14	21
イ	ときどき参加している	22	29	51
ウ	誘われたときに参加している	4	7	11
エ	あまり参加していない	0	6	6
	計	33	56	89

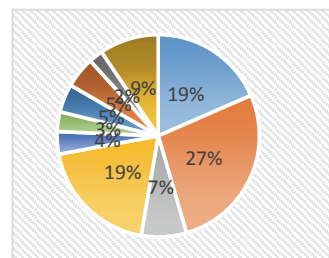


⑨	武校区が、どのような「まち」になったら良いと思いますか。			
	ア 安心、安全に暮らせる街	26	31	57
	イ 健康づくりや福祉が充実した街	4	5	9
	ウ 教育環境が充実した街	0	4	4
	エ ショウガがシチュウ 生涯学習やスポーツ活動がさかんな街	3	5	8
	オ 地域の歴史や文化を大切にする街	4	10	14
	カ みんなが知恵を出し合い、協力する街	6	9	15
	計	43	64	107



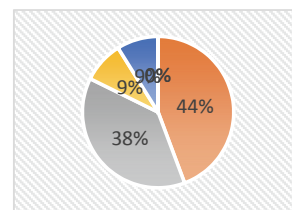
これからどのような活動に参加・協力してみたいですか。(3つ以内で)

	ア あいご会活動(行事、スポーツ大会等)	24	17	41
	イ 身近な地域での祭り(夏祭り等)	27	33	60
	ウ 身近な地域でのスポーツ活動	7	9	16
	エ PTA主催の行事(バザー等)	15	28	43
	オ 花植えなどの緑化活動	2	6	8
	カ 地球温暖化防止などの自然保護	2	5	7
	キ 地域でできるボランティア活動	3	7	10
	ク 地域のよさを見つけるまち探検	6	5	11
	ケ お年寄りや障害ある方との交流活動	3	2	5
	コ 外国の人たちとふれ合う活動	7	14	21
	計	96	126	222



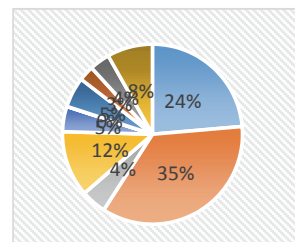
《 中学生 》 (2年生)	男	女	計
---------------	---	---	---

④	あなたは、家族と会話をしますか。			
	ア よくする	29	6	35
	イ ときどきする	16	14	30
	ウ 話しかけられたら話をする	2	5	7
	エ あまりしない	0	7	7
	オ まったくしない	0	0	0
	計	47	32	79



これからどのような活動に参加・協力してみたいですか。(3つ以内で)

	ア あいご会活動(行事、スポーツ大会等)	18	8	26
	イ 身近な地域での祭り(夏祭り等)	21	18	39
	ウ 身近な地域でのスポーツ活動	2	3	5
	エ PTA主催の行事(バザー等)	6	7	13
	オ 花植えなどの緑化活動	4	1	5
	カ 地球温暖化防止などの自然保護	0	0	0
	キ 地域でできるボランティア活動	2	4	6
	ク 地域のよさを見つけるまち探検	2	1	3
	ケ お年寄りや障害のある方との交流活動	1	3	4
	コ 外国の人たちとふれ合う活動	3	6	9
	計	59	51	110



⑩	武校区が、どのような「街」になったらいいと思いますか。			
	ア 安心、安全に暮らせる街	24	27	51
	イ 健康づくりや福祉が充実した街	7	7	14
	ウ 教育環境が充実した街	4	3	7
	エ 生涯学習やスポーツ活動がさかんな街	11	6	17
	オ 地域の歴史や文化を大切にする街	5	6	11
	カ みんなが知恵を出し合い、協力する街	0	6	6
	計	51	55	106

